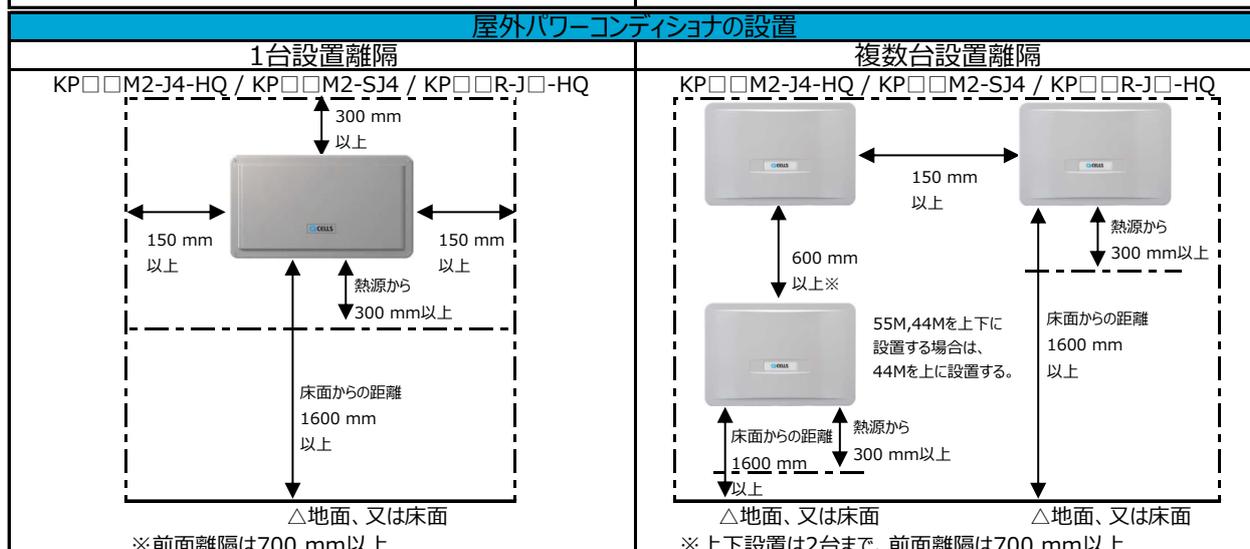
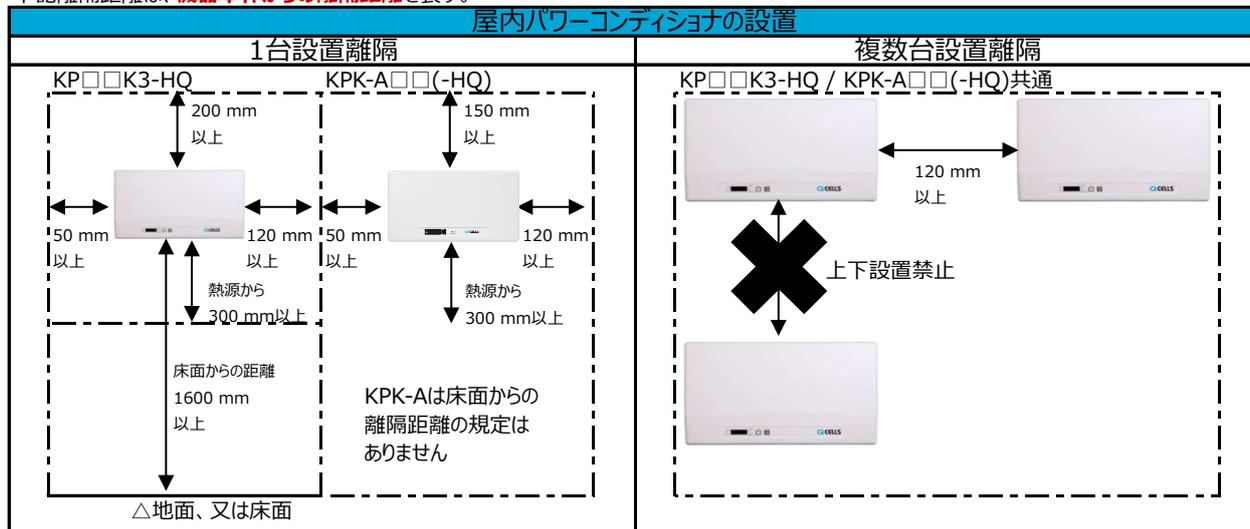


周辺機器		海岸線からの距離		
		500 m以内	1 km未満	1 km以上
パワーコンディショナ	KP□□K3-HQ	屋内設置		
	KPK-A□□(-HQ)			
	KP□□M2-J4-HQ			
	KP□□R-J□-HQ			
	KPV-A55-J4(-HQ)			
	KPW-A55-J4			
	KP55S3-HY			
	KP□□M2-SJ4			
	KPW-A55-SJ4			
	KPV-A55-SJ4			
KP55S3-SHY	設置不可	設置可		
接続箱			KTN-CBS4C-R	
	KTN-CBD4C			
昇圧ユニット	KP-ST3-1	設置不可		
	KP-ST3-1B			
表示モニタセット	KP-MU1P-SET-HQ※	屋内設置		

※KP-MU1F-SET、KP-MU2B-SETも同様

- ・KP□□M2-J4-HQ及び、KP□□R-J□-HQは500 m以内で設置する場合、屋内設置可
- ・KP-ST3-1、KP-ST3-1Bは500 m以内で設置する場合、屋内設置可能
- ・KP55S3-HYは屋内設置不可
- ・接続箱は500 m以内設置可でも、直接飛沫がかかる場所は設置不可
- ・KTN-CBS4C-R、KTN-CBD4Cは沖縄全域および潮風が直接あたる場所は屋内設置
- ・KP□□M2-SJ4は直接波しぶきがあたる場所は屋内設置（台風によって一時的に海水が飛散する場合は除く）
- （台風によって一時的に海水が飛散する場合は除く）
- ・KPV、KPWシリーズは風通しが悪い場所や、締めきった狭い場所は設置不可の為、屋内設置は推奨しません。
- ・その他各パワーコンディショナの施工マニュアル要確認

下記離隔距離は、**機器本体からの離隔距離**を表す。



パワーコンディショナの地上、又は床面からの離隔距離は以下の条件を全て満たせば500mmとすることが可能。

施工業者や使用者以外の人や、子供が触れないような手段（ガードフェンスなど）を設けること。

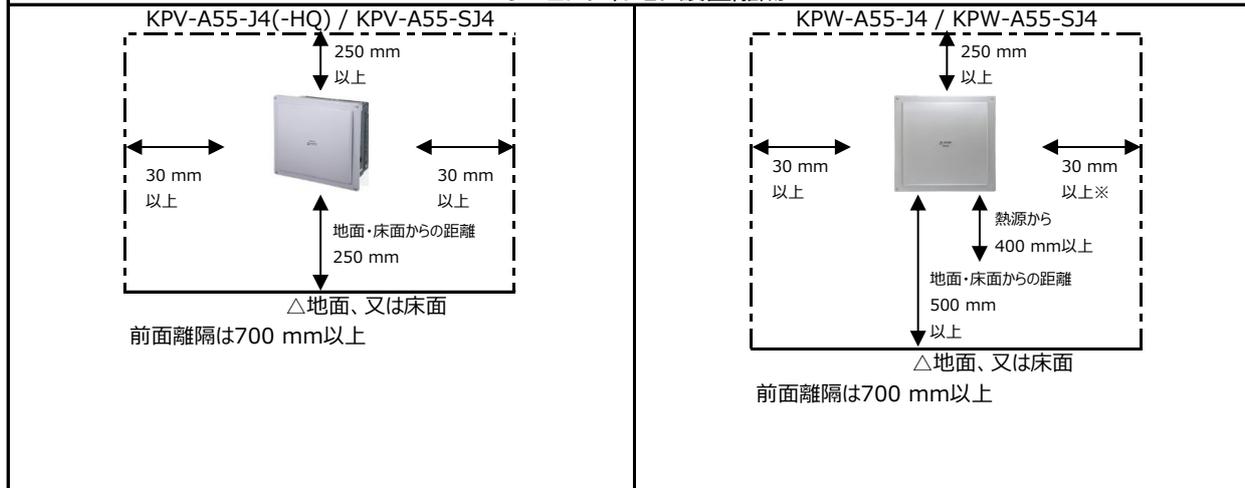
冠水、冠雪、湿地や水溜りを避けて取付けること。雑草、ごみ、障害物により放熱や換気が妨げられないこと。

本資料に記載のない条件詳細は必ず各施工マニュアル、各取扱説明書を確認してください。

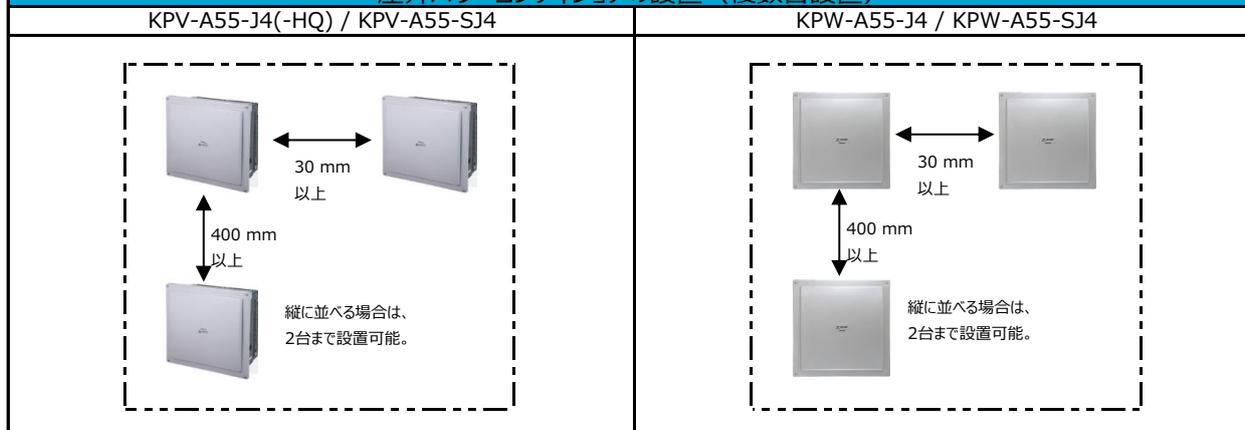
下記離隔距離は、**機器本体からの離隔距離**を表す。

屋外パワーコンディショナ設置

パワーコンディショナ設置離隔



屋外パワーコンディショナの設置（複数台設置）



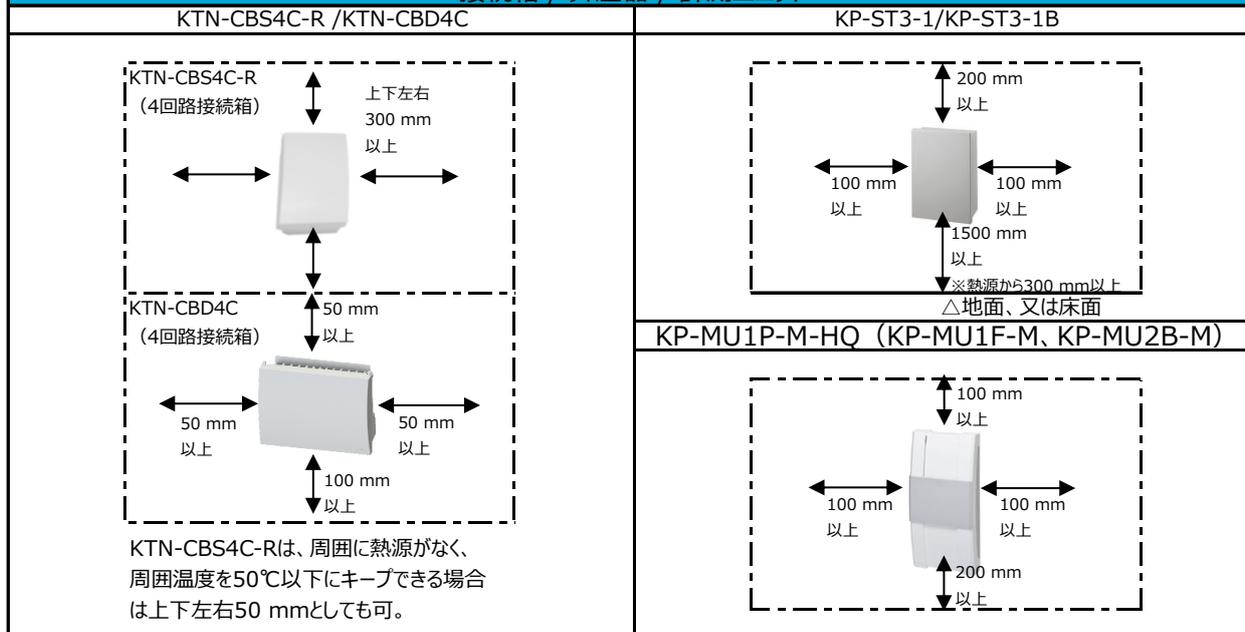
複数台設置の注意点（共通）

上下設置する場合、離隔400mmを守った場合でも以下のことが起きる可能性があります。

上側のパワーコンディショナ下部の吸気温度(パワーコンディショナの放熱器下方の温度)が35℃を超える場合は、上側のパワーコンディショナが出力抑制する可能性があります。

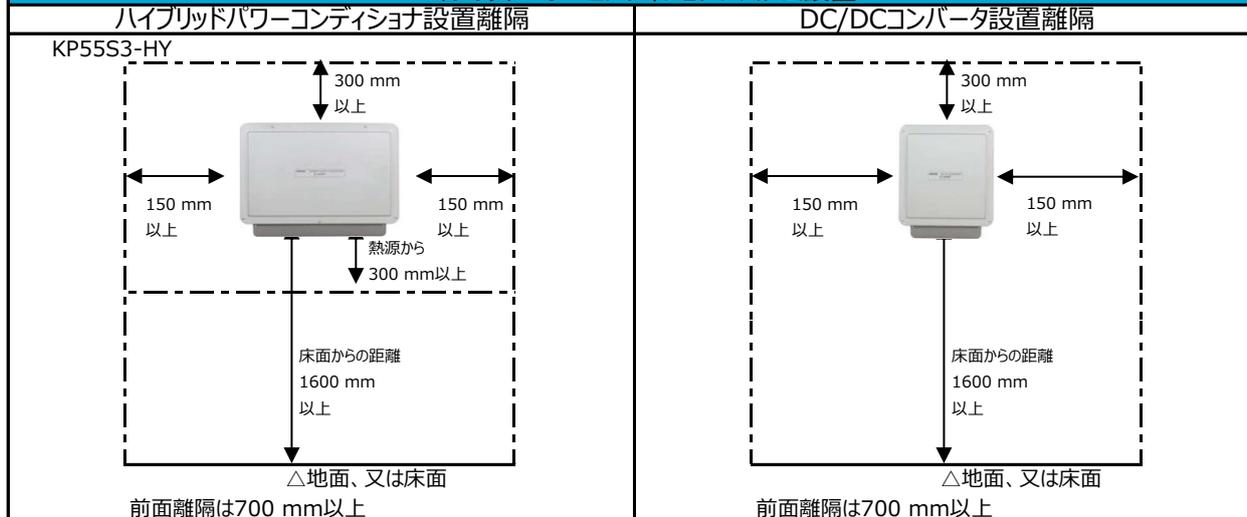
上側のパワーコンディショナの寿命は下側のパワーコンディショナに比較して短くなる可能性があります。

接続箱 / 昇圧器 / 計測ユニット

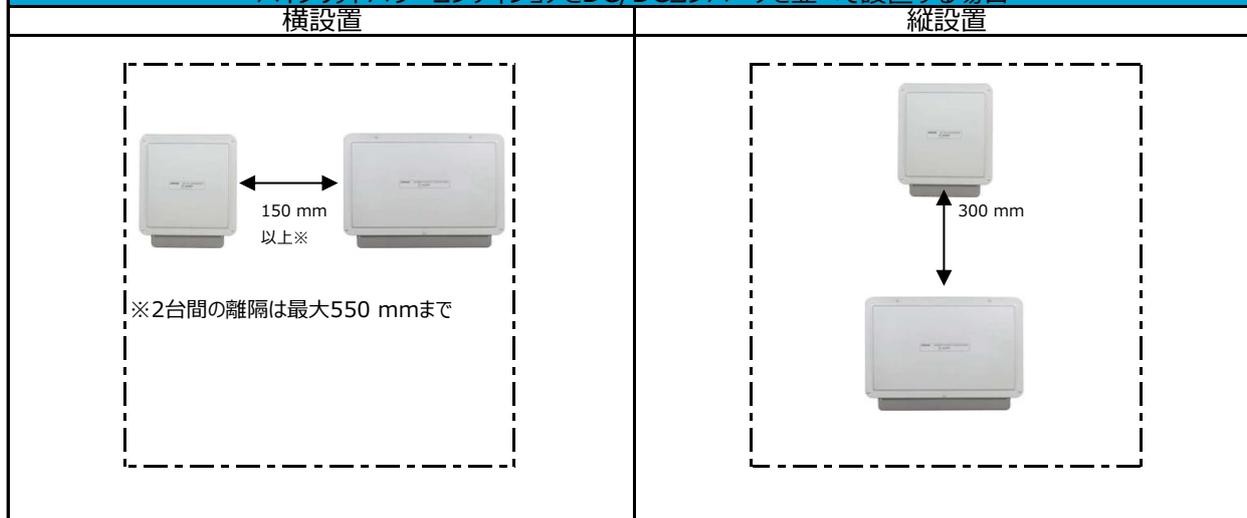


下記離隔距離は、**機器本体からの離隔距離**を表す。

ハイブリッドパワーコンディショナシステム設置



ハイブリッドパワーコンディショナとDC/DCコンバータを並べて設置する場合



本資料は、各機器の設置離隔を確認する為の資料です。
その他の設置に関する注意事項、配線工事に関しては、
必ず、設置するパワーコンディショナの施工マニュアルを
確認してください。